



現代美術を楽しめる青森県内の5つの美術館・アートセンターが連携する初のアートフェス「AOMORI GOKAN アートフェス 2024『つらなりのはらっぱ』」が、9月1日まで開催中です。県内の5館を巡り、アートの世界をとことん楽しんで、さまざまな青森の文化、歴史、自然を体感しに行こう。観覧料が割引になるパスポートや抽選でオリジナルグッズが当たるスタンプラリーシートが付いた便利でお得な「公式ガイドブック付き5館周遊チケット」(一般3,700円)をオンライン限定で販売中です。

問 AOMORI GOKAN アートフェス 2024
実行委員会事務局 ☎017-783-3000



公式ガイドブックについてはこちら▶



青森県立美術館 「かさなりとまじわり」

前期: 6/23(日)まで 後期: 7/6(土)~9/29(日)



青木淳《つながりのはらっぱのための壁》2024年
井田大介《Synoptes》2023年

三内丸山遺跡に着想を得た同美術館の内外を行き来しながら、縄文から連なる長い時間で堆積してきた青森の文化芸術のエネルギーを引き出し、豊かな青い森の生態系のように展示空間を連鎖・循環させ、未来を切り拓く新しい活力を美術館全体に充満させる試みです。

青森公立大学 国際芸術センター青森(ACAC)

「currents/undercurrents ーいま、めくるめく流れは出会って」

前期: 6/30(日)まで 後期: 7/13(土)~9/29(日)



岩根愛《The Opening》2022年
青野文昭《ここにいないものたちのための群像 - 何処から来て何処へ行くのか - サイノカワラ 2016》2014-2016年

「current」と「undercurrent」をキーワードに、ある場所と関わり合い表現を紡ぎ出す国内外アーティスト、青森ゆかりの表現者らの作品が集い、前期と後期で異なる展覧会を行うことで、変化し続ける「いま」をこの場に取り込むことなどを試みます。

弘前れんが倉庫美術館

① 蛭川実花展 with EiM: 儂くも煌めく境界 Where Humanity Meets Nature

しらかみのぞきみこう

② 弘前エクステンジ#06「白神視見考」

9/1(日)まで ②は「HIROSAKI ORANDO」,「ギャラリーまんなか」でも開催



蛭川実花《Sanctuary of Blossoms》2024年 展示風景 撮影:小田山邦哉
狩野哲郎《あいまいな地図、明確なテリトリー》2024年 展示風景 Courtesy of the artist

蛭川実花展は、壮大なインスタレーションや、蛭川が弘前など全国で撮影した桜の写真などを紹介。白神視見考は、白神山地をテーマに4組のアーティストが作品展示やワークショップなどを実施します。

八戸市美術館 「エンジョイ! アートファーム!!」 9/1(日)まで



しばやまいぬ《版画下絵:タイトル未定》2024年
東方悠平《TENGUBUCKS Cafe in Hue - Coffee Float》2019年

同美術館のコンセプト「出会いと学びのアートファーム」を体現する企画。八戸を拠点とする絵画や版画、写真、ダンスなど多様なジャンルのアーティスト5人が、来館者と共に作品をつくりたり交流したりするプロジェクトを展開していきます。

十和田市現代美術館 「野良になる」 11/17(日)まで



参考図版 丹羽海子《Metropolis Series: Good Egg Community》2022年 Courtesy the artist and Someday, New York 撮影:Daniel Terna
参考図版 基原啓子《それじゃわからない》2022年 ©Yoko Daihara, courtesy of Take Ninagawa, Tokyo.

近代が生み出した自律した主体としての「人間」を見直し、そこから排除された存在や思考に目を向けます。トランスジェンダー女性として生きるあり方を彫刻で表現する丹羽海子ら、多様な視点で自然を捉える若手作家4人の表現を紹介します。

【共通企画】 栗林隆「元気炉」



栗林隆《元気炉》2022年
《蚊帳の外》ドクメンタ15、ドイツ・カッセル)より Photo: Rai Shizuno

■ 展示スケジュール

8/9(金)~11(日) 青森県立美術館
8/14(水)~15(木) 青森公立大学 国際芸術センター青森
8/18(日)~19(月)、21(水) 八戸市美術館
8/24(土)~25(日) 十和田市現代美術館
8/28(水)~9/1(日) 弘前れんが倉庫美術館

本アートフェス終盤の8月から最終日にかけて、栗林隆による《元気炉》が開催館5館を巡回します。この作品は、原子炉の形状を模し葉草の香りを帯びた蒸気を発生させるもので、内部に入ることができ、植物のエネルギーを感じられます。

国際芸術センター青森(ACAC)からのお知らせ

イベント

Maher Shalal Hash Baz(マヘル・シャラル・ハシュ・バズ)ライブ
「山の上の連絡船」

野外ライブを行います。楽器や音の出るものを持参すれば、演奏にご参加いただけます。

時 6/15(土) ※雨天決行 13:00~15:00

所 展示棟 野外ステージ



「見えない建築」ツアー

青森公立大学 国際芸術センター青森の建築を中心に市民ガイドがご案内します。

時 6/23(日) 10:30~11:30

所 展示棟 ギャラリーA入口



ワークショップ

是恒さくら 共同制作 刺繍カフェ
「大きな鯨の小さなかけら」

皆さんが作る刺繍やアップリケを、展示している大きなパッチワークの鯨に加えていきます。

時 6/8(土)・22(土)

13:00~16:00(所要時間30~60分)

所 展示棟ラウンジ



是恒さくら《原画刺繍「ありふれたくじら」 Vol.5: 神を食べる・唐桑半島「祝いの着物」》2018

光岡幸一 ワークショップ
「徒然面構E情(ツツツツツガマエツツツ)」

敷地内の好きなところに、テープで顔を描いてもらいます。描き終わったらみんなでツアーをし、描かれた顔のことを考えていきましょう。

時 6/30(日) ※雨天決行

14:30~16:00

所 展示棟 野外ステージ



©光岡 幸一